

## 「やさしいメニュー」提案好評 環境配慮型商品積極開発



▲尾家啓二社長

全国44カ所に営業拠点を築き、各地に業務用食材などを供給している業務用卸。外食を中心に、中食、産業給食、宿泊施設、病院や高齢者施設など幅広く提案している。

強みについて尾家啓二社長は「全国対応可能な営業拠点」「個々の顧客のニーズに応える物流システム」「きめ細かい営業力と提案力」の3点を挙げ、本当の強みは「ひと」にあるとする。

持続可能な考え方を以前から経営に取り入、提案や商品開発に積極的に生かしている。SDGsに賛同した独自の取組みが「SMILE PROJECT活動」。その最たるものが「食べる人にも作る人にも優しい」がコンセプトの「やさしいメニュー」の活動で、その提案会は2011年に始め、得意先からの評価も高い。同プロジェクトでは、「MSC及びASC認証取得商品の販売」「環境配慮PB商品の開発・販売」などにも取り組んでいる。

環境配慮型商品も積極的に開発しており、PB商品では「減容容器」「ゴミ削減」「リユース」「環境適応素材」「再生紙」「海の豊かさを守ろう」などの観点から約40品を開発し販売している。

ASC認証（責任ある養殖により生産された水産物）商品は、「おいしい海」シリーズ第一弾「サラダえび」を発売中で、環境認識の高まりから徐々に販売数が拡大。また、6月に「サンホーム ミニ春巻」は従来のトレイを廃止した。サステイナブル経営を施策の根幹の一つに置き、来年度からの新中期3か年計画につなげていく。

## チャレンジする企業に 地域に密着し貢献



▲大桑弘嗣社長

今年2月、大桑弘嗣氏が社長に就任。営業から商品部、財務、店舗開発などあらゆる部署を経験し「当社の強みも弱みも把握できている。もちろん、強みは伸ばすし弱点は補う。現状維持ではなく、チャレンジする企業にしたい」と強調する。

1959年、和歌山県新宮市に県下初のスーパーマーケットを開き、現在は近畿と東海8府県に151店舗、SMからスーパーセンター、高質スー

パー、DSまで幅広い業態を展開する。今年7月にオープンした「パレマルシェ神宮前店」（名古屋市）は、高質スーパー「メッサ」業態の都市型フォーマットとしての新たな挑戦だ。商品面では「オークワブランド」作りも2年目を迎え、「オークワプレミアム」を筆頭に独自の価値商品の開発を進める。

環境保全への取組みには積極的で、現在10事業所に太陽光発電設備を設置する。今年3月には本社を含む4事業所に、再生可能エネルギー電力を導入。このうち本社（本社中島店、研修センターを含む）では、事業活動に使用する電力を100%調達している。既存店を含め今後も拡大する計画だ。地域貢献活動にも注力しており、発祥の地和歌山で93年に大桑教育文化振興財団を設立。これまでの奨学金や援助金の総額は9億円を超える。また、下期より「サステナビリティ推進室」を新設した。社会貢献、環境への取り組みをさらに推し進め、地域に密着したスーパーならではの独自性を最大限発揮していく。